**小学生(低)礼拝6月①**

**アダムとエバと神様の悲しみ**

きょうは、聖書に書いてある、最初の人間である、アダムとエバのお話しをしたいと思います。そして、おはなしの名前に、「神様の悲しみ」と書いてあります。アダムとエバは神様を悲しませてしまったのです。

なぜ、アダムとエバはなぜ神様を悲しませてしまったのか、そのおはなしをしたいと思います。

前のお話では、神様がこの世界の全てをつくり、最後に人間のアダムとエバをつくられ、とっても喜ばれた、というお話をしましたね。

そして、アダムとエバに、すくすく成長して、幸せになってほしい、という願いを込められた、というお話もしました。（覚えていますか？）

神様は、アダムとエバを創造したあと、緑があふれる美しい場所をつくり、エデンの園と名付けました。

エデンの園には、たくさんの動物がいるし、おいしい果物もたくさんあります。

神様は、アダムとエバをエデンの園につれてきました。そして、そこで、よくたべて、よく遊んで、幸せにくらすことを願われたのです。

神様は、エデンの園の真ん中に「生命の木」と「善悪を知る木」という２本の木を生えさせました。

そして、神様は、アダムとエバと一つの戒めを与えました。

それは、「エデンの園のどの木からでも取って食べても良いが、その善悪知る木の実だけは取って食べてはならない」というものでした。「戒め」とは、守らなければならない神様との約束をいいます。

皆さんも、先生やお母さんと約束をするでしょう。一人で道路に飛び出さない、部屋の中を走らない、などの約束をしています。それは、皆さんがケガをしないように、死ぬことがないようにと思うからです。

それと同じように、アダムとエバを本当に愛していた神様は「その実を取って食べてはならない、食べたらきっと死ぬであろう」という約束、戒めを与えたのです。

ところが、ある日、ヘビがエバのところにやってきて、こういいました。

「園にあるどの木からも、とって食べるなと、本当に言われたのですか。」

エバは言いました。

「園の中央にある木の実については、これを取って食べるな、これに触れるな、死んではいけないからと、神は言われました。」エバは、神様との約束があることを、ヘビに言いました。

すると、ヘビは

「あなたがたは決して死ぬことはないでしょう。それを食べると、あなたがたの目が開け、神のように善悪を知るものとなることを神は知っておられるのです。」

ヘビはエバに、神様の約束を破るように誘惑を続けました。

そして、エバは、ヘビの誘惑に負けて、木の実をとって食べてしまいました。聖書にはこのように書いてあります。

「それは食べるに良く、目には美しく、賢くなるには好ましいと思われたから、その実を取って食べ、また共にいた夫にも与えたので、彼も食べた」

エバは、自分だけではなく、アダムにもその木の実を上げたのでした。アダムとエバは二人で神様との約束を破ったのです。

アダムとエバは、神様に隠れて、こっそりと木の実をたべたつもりでした。でも神様は、すべてご存じでした。神様はとても悲しまれました。愛する息子と愛する娘に裏切られてしまったからです。

そして、「悪い心」がはいってしまったアダムとエバは、もう、エデンの園にいることができなくなってしまいました。アダムとエバはエデンの園から出て行ってしまったのです。

愛するアダムとエバが神様の下を離れてしまいました。神様はとっても悲しまれたのです。

では、エバを誘惑したヘビの正体は、一体何だったのでしょうか。そのヘビは神様の願いを知っていて、人間と話をしたというのです。動物園のヘビが話す姿を見たことがありますか？それは、本物のヘビではなく、天使長ルーシェルのことでした。

ルーシェルは、神様の愛をいっぱい受けているエバを見て、うらやましいと思うようになり、悪い方向へ誘惑したというのです。そして、サタンと呼ばれる悪なる存在となっていきました。今でもサタンは、人間の心を神様から遠ざけ、悪いことをさせようと働きかけます。

今まで、たくさんの人が喧嘩をしたり、あらそったりしてきました。今も世の中では悪いことがたくさん起きています。それは、じつは「サタン」が人々に悪いことをさせているのです。

では、どうしたらサタンの誘惑に勝つことができるでしょうか？それは、「み言」を学ぶことです。さらに、「お祈り」をすると、力が与えられます。１週間に１度のこの礼拝を大切にして、神様のみ言を聞くことができる人になりましょう。そして、皆さんの成長を願っているお父さん、お母さんとの約束を守りましょう。